

ちいぎのわだい

(消防功労)

春の叙勲

平成 26 年度

平成26年度春の叙勲受章者が発表され、本市から次の方々を受章されました。
お二人は、豊富な経験と優れた指導力で、永きにわたり地域の安心・安全のために力を注ぎました。この功績が認められこの度の受章となりました。市民の皆さんとともに心からお祝い申し上げます。

瑞宝単光章

高橋昭郎 氏

(71歳 角館町)



昭和37年旧角館町消防団に入団。平成17年4月から平成20年3月まで副団長として活躍されました。

瑞宝単光章

佐藤富一 氏

(70歳 西木町)



昭和40年旧西木村消防団に入団。平成15年4月から平成21年3月まで副団長として活躍されました。

5月10日 生保内公園

生保内公園クリーンアップ 地域のみんなで清掃作業

生保内公園愛護会（稲田修会長）主催による生保内公園のクリーンアップが、5月10日に行われました。
当日は地域住民の方々や生保内中学校の生徒、先生など多数が参加し、公園内のごみや落ち葉の清掃に汗を流しました。
会では、子どもからお年寄りまで安心して利用できる公園を目指し、今後活動も続けることにしています。



地域の公園をみんなで清掃。あっという間にゴミ袋が一杯になりました

5月3日・11日・18日 角館町・秋田市・盛岡市

練習の成果を發揮 角館柔人クラブ3大会で活躍

角館武道館で活動を続ける「角館柔人クラブ」が、5月に臨んだ3つの大会で好成績を残しました。
3日、角館武道館で行われた「第51回大曲仙北青少年保護育成柔道大会」団体戦で見事に優勝。続いて11日に秋田県立武道館で開催の「第41回全県選抜防犯少年柔道大会」では創団以来初の全県大会準優勝となりました。さらに18日に岩手県宮武道館で行われた「第27回マルちゃん杯東北少年柔道大会」では、参加84チームの中から、ベスト8に勝ち上がりました。
選手たちは、日頃の練習の成果と手



見事な成績の「角館柔人クラブ」ますますの活躍が期待されます

まちづくり日記

No.66

『話せば分かる』

仙北市長

門脇

光浩

以前、何とかしたいけれども、解決できない市の情報発信力の充実について、皆さんに愚痴をこぼした記憶があります。当時と比べ、現在は市内全域に光ファイバーの敷設を終え、最低の社会資本だけが、市議会のインターネット中継や、えすなび（若手有志が制作配信するインターネット番組。毎週日曜日の夜8時から放送中）、各個人団体のフェイスブック、ブログ、ツイッターなど、様々な取り組みはどれも好評です。

市から市民の皆さんへの情報提供は、今のところ月2回発行の広報せんぼく市議会だより、安心・安全メール、防災行政無線放送、まちづくり懇談会などが代表的なものです。でも、まだまだ十分とは言えません。

例えば5月8日、改選後初の臨時議会で議事に報告した①庁舎整備基本構想のこと、②株式会社ツムラの生葉栽培のこと、③司食品工業の企業誘致の現状、④秋田スギバイオエネルギーセンターの

検証結果、⑤角館総合病院改築事業の現状などは、市のホームページや自分のブログでも掲載していますが、どれだけ皆さんが知っているか、心配です。

他の自治体ではFMラジオ局の開設、地域テレビ放送の実施など、聞くだけ見るだけの情報発信事業が進んでいます。ただ、市で以前に検討したFMラジオ局の開設は、地元スポンサーの獲得が困難との結論でした（お隣の大仙市では、民間が中心になってコミュニティFMを開局します）。テレビは、東日本大震災の後、防災の観点から地域テレビ局開局の法整備が整いましたが、克服すべき難題が山盛りです。

心配していることは、市民の皆さんも行政に伝えたいと思っている多くの事柄が、上手く伝わってこない現状です。情報が薄いと誤解が生まれます。そして誤解は不幸の原因になります。時代劇ではありませんが、「話せば分かる」こと、実際に多いと感じています。



Kakunodate Film Commission

10月に開催される第29回国民文化祭・あきた2014の県民参加事業として「秋田ゆかりの映画祭」が開催されます。

秋田県内のフィルムコミッション（FC）と映画関係の団体・組織（かくのだてFC・だいでん大曲FC・横手市FC・能代FC・ロケーションかづの・あきた十文字映画祭・おおだて映像計画）が協力して進めます。

秋田県内で撮影された映画は、昭和16年の大河内伝次郎主演の「川中島合戦」（大仙市玉川河畔）から昨年公開された「遠くですつとそばに在る」（秋田市）まで50作品を超えます。秋田県出身の俳優や監督・脚本家などの作品を加えると100以上となります。これらの



主会場となる秋田魁新報のさきがけホール

作品の中から厳選して上映します。映画には、秋田の戦前・戦後の風景も登場します。無くなった建物・町並み、そして農山漁村の風景なども少なくありません。ふると秋田の原風景を懐かしむことができる機会となりますし、他県から訪れた人々には、秋田の昔からの文化を、映像を通じて感じていただけるでしょう。

今年2月にオープンしたばかりの秋田魁新報のさきがけホール（秋田市山王臨海町）を主会場として開催されます。県南、県北でも行われる予定です。
仙北市で撮影された作品も上映されるかもしれません。たくさんの方に観ていただきたいと思っていますのでご期待ください。